

生涯学習部所管施設の指定管理者モニタリング結果について（報告）

（資料一覧）

① 東習志野図書館・新習志野図書館・谷津図書館	p1-2
② 新習志野公民館	p3-4
③ 実花公民館・袖ヶ浦公民館・谷津公民館	p5-6
④ スポーツ 9 施設	p7-8
⑤ 習志野市生涯学習複合施設「プラッツ習志野」	p9-10

指定管理者実績評価表（令和5年度実績）

中央図書館

施設名	習志野市立東習志野図書館・習志野市立新習志野図書館・習志野市立谷津図書館
指定管理者	株式会社図書館流通センター
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

特記事項	総合評価
・情報提供について各館でXの投稿件数の増に取り組み、デジタルアーカイブに掲載した場所の現在の写真を掲載する（東習志野）など、利用者の関心を引く工夫もした。 ・長期間の空調機の故障という事態においても、問題なく運営を継続した（東習志野）。 ・小説のコーナーの見出しに著者のプロフィールカードを設置するなど、利用者の読書の意欲を高める取り組みをした（全館）。 ・図書館の専門会社として専門性を高める様々な研修を実施、サービス水準の向上に取り組んでいる。 ・前年度からの本社管理費の計上方法の変更や、人件費の増により、収支はマイナスになっている。 ・利用実績（新規登録人数、貸出人数、貸出数）の減少が課題となっている。 ・絵本作家を招いた「親子で楽しむおはなし会」や病院図書室の司書による「医療情報講座」など多くの自主事業を実施、利用者の好評を得た。 全体として、概ね良好である。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅰ 市民の平等な利用の確保	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A	
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	要求水準を上回る
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A+	
Ⅱ 管理を安定して行う物的能力、財政的能力及び人的能力の保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A+	要求水準
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		4 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A	

区分	項 目	評 価 観 点	個別の評価	
Ⅲ 当該施設の効用を最大限に発揮させる能力及び経費の縮減	1 サービス向上及び利用者の増加等、施設の効用を最大限に発揮させる取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A+	
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A	要求水準
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A+	要求水準を上回る
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	要求水準
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A	
	2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準だが一部課題がある
2 収支がプラスになっているか。		B		
3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。		A+	要求水準を上回る	
Ⅳ 施設の利用状況	1 施設の利用実績	1 利用登録人数	A	要求水準
		2 貸出人数	A	
		3 貸出数	A	
		4 レファレンス受付件数	A+	要求水準を上回る
Ⅴ 個別事項	1 職員の待遇	1 安定的な職員配置が出来るように職員の待遇が配慮されているか。	A	要求水準
	2 図書館管理者としての適格性	1 習志野市文教住宅都市憲章にふさわしい図書館運営が行われているか。	A	
		2 乳幼児、児童、障がい者、高齢者等多様な利用者の利用に対して配慮されているか。	A	
	3 蔵書管理	1 図書館資料の管理が適正に行われているか。	A+	要求水準を上回る
	4 自主事業	1 施設の特性を理解したサービスが提供されているか。	A	要求水準
		2 施設の設置目的に沿った自主事業が行われているか。	A+	要求水準を上回る

評価段階：A+～C	A+ （要求水準を上回る）の数	9
※要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準。	A （要求水準と同等）の数	28
	B （要求水準だが一部課題がある）の数	1
	C （要求水準に至らない）の数	0

指定管理者実績評価表（令和5年度実績）

中央公民館

施設名	習志野市新習志野公民館
指定管理者	株式会社オーエンス
指定期間	令和5年4月1日～令和8年3月31日

特記事項	総合評価
・新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、施設の年間利用者数が徐々に回復傾向にある中、公民館の各事業も積極的に実施された。 ・利用者より接客対応及び施設の清潔感について良好な評価を得ており、利用者が快適に利用できるよう取り組んでいる。 ・公民館の講座情報、施設状況等情報発信に取り組んでいる。 全体として概ね良好である。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅰ 市民の 確保等 利用の	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A+	要求水準を上回る
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのような工夫しているか。	A	要求水準
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A	
Ⅱ 管理を安定して行う物的能力、 財政的能力及び人的能力の保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	
		2 施設周辺（外構、植栽、樹木等含む）の環境が適切に維持管理・整備されているか。	A	
		3 備品が適切に管理されているか。	A	
		4 清掃業務において、利用者が快適に利用できるよう状態が保持されているか。	A	
		5 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		6 複合施設全体として、地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
		7 複合施設の特性を理解し取りまとめの役割を担った運営がされているか。	A	
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の接遇	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A+	要求水準を上回る
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	要求水準
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A	

区分	項 目	評 価 観 点	個別の評価	
Ⅲ 当該施設の 効用を最大 限に発揮さ せる能力及 び経費の縮 減	1 サービス向上及 び利用者の増加等、 施設の効用を最大限 に発揮させる取り組 み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するな ど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にア ピールしているか。	A+	要求水準を上回る
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされてい るか。	A+	
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差 が生じないように、施設のサービス水準を確保するた めの取り組みを行っているか。（研修計画は適切で あったか。）	A	要求水準
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されて いるか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備して いるか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応でき る体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、 課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。 独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施 し、地域交流の支援を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
	2 管理運営経費の 縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準
		2 収支がプラスになっているか。	A	
		3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行って いるか。	A	
Ⅳ 用施 状設 況の 利	1 施設の利用実績	1 年間施設利用回数	A	
		2 年間施設利用人数（延べ）	A	
Ⅴ 個 別 事 項	1 職員の待遇	1 安定的な職員配置ができるように職員の待遇が配 慮されているか。	A	要求水準
	2 公民館管理者と しての適格性	1 市の基本方針や教育基本計画に沿った公民館運営 が行われているか。	A	
		2 乳幼児、児童、障がい者、高齢者等多様な利用者 の利用に対して配慮されているか。	A	
	3 生涯学習活動の 普及（領域別主催事 業実績）	1 計画に沿った事業が実施されたか。		要求水準
		1 「家庭教育」	A	
		2 「少年親子」	A	
		3 「青年」	A	
		4 「成人」	A	
		5 「高齢者」	A	
		6 「地域協働・文化活動」	A+	要求水準を上回る

評価段階：A+～C	A+（要求水準を上回る）の数	6
※要求水準とは、協定書・仕 様書及び事業計画書において 求める運営管理の水準。	A（要求水準と同等）の数	36
	B（要求水準だが一部課題がある）の数	0
	C（要求水準に至らない）の数	0

指定管理者実績評価表（令和5年度実績）

中央公民館

施設名	習志野市実花公民館・習志野市袖ヶ浦公民館・習志野市谷津公民館
指定管理者	株式会社オーエンス
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

特記事項	総合評価
・新型コロナウイルスが5類感染症へ移行し、施設の年間利用者数が徐々に回復傾向にある中、公民館の各事業も積極的に実施された。 ・利用者より接客対応及び施設の清潔感について良好な評価を得ており、利用者が快適に利用できるよう取り組んでいる。 ・公民館の講座情報、施設状況等情報発信に取り組んでいる。 全体として概ね良好である。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価
I 市民の 確保等 利用の	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A 要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A+ 要求水準を上回る
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのような工夫しているか。	A
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A
II 管理を安定して行う物的能力、財政的能力及び人的能力の保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A
		2 施設周辺（外構、植栽、樹木等含む）の環境が適切に維持管理・整備されているか。	A
		3 備品が適切に管理されているか。	A
		4 清掃業務において、利用者が快適に利用できるよう状態が保持されているか。	A
		5 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A
		6 複合施設全体として、地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A
	3 適正な職員の接遇	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A

区分	項 目	評 価 観 点	個別の評価	
Ⅲ 当該施設の 効用を最大 限に発揮さ せる能力及 び経費の縮 減	1 サービス向上及 び利用者の増加等、 施設の効用を最大限 に発揮させる取り組 み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するな ど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にア ピールしているか。	A+	要求水準を上回る
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされてい るか。	A+	
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差 が生じないように、施設のサービス水準を確保するた めの取り組みを行っているか。（研修計画は適切で あったか。）	A	要求水準
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されて いるか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備して いるか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応でき る体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、 課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。 独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施 し、地域交流の支援を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
	2 管理運営経費の 縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準
		2 収支がプラスになっているか。	A	
		3 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行って いるか。	A	
Ⅳ 用施 状設 況の 利	1 施設の利用実績	1 年間施設利用回数	A	
		2 年間施設利用人数（延べ）	A	
Ⅴ 個 別 事 項	1 職員の待遇	1 安定的な職員配置ができるように職員の待遇が配 慮されているか。	A	要求水準
	2 公民館管理者と しての適格性	1 市の基本方針や教育基本計画に沿った公民館運営 が行われているか。	A	
		2 乳幼児、児童、障がい者、高齢者等多様な利用者 の利用に対して配慮されているか。	A	
	3 生涯学習活動の 普及（領域別主催事 業実績）	1 計画に沿った事業が実施されたか。		
		1 「家庭教育」	A	要求水準
		2 「少年親子」	A	
		3 「青年」	A	
		4 「成人」	A	
		5 「高齢者」	A	
		6 「地域協働・文化活動」	A+	要求水準を上回る

評価段階：A+～C	A+（要求水準を上回る）の数	5
※要求水準とは、協定書・仕 様書及び事業計画書において 求める運営管理の水準。	A（要求水準と同等）の数	36
	B（要求水準だが一部課題がある）の数	0
	C（要求水準に至らない）の数	0

指定管理者実績評価表（令和5年度実績）

生涯スポーツ課

施設名	スポーツ9施設 袖ヶ浦体育館、東部体育館、袖ヶ浦テニスコート、実籾テニスコート、秋津テニスコート、芝園テニスコート・フットサル場、秋津サッカー場、秋津野球場、茜浜パークゴルフ場
指定管理者	公益財団法人習志野市スポーツ振興協会
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

特記事項	総合評価
・施設の安全・安心な運営、点検チェックなど快適なスポーツ施設の運営に取り組んでいる。 ・施設の修繕、周辺環境の整備では、職員を育成し経費節減や迅速な対応に努めていた。 ・災害時の各施設でのマニュアルの確認や避難訓練なども企画だけではなく、消防団協力事業所としても登録し、行政との連携に努めていた。 ・スポーツプログラマーや保健体育の免許取得者が様々なスポーツ事業で初心者指導を行い、スポーツの推進に貢献している。 ・アンケート等を踏まえ、3世代など幅広い方々が参加できるような自主事業を企画しており、「する」スポーツの振興に努めていた。 ・管理運営、経費の縮減においては、人件費の増額（最低賃金のアップ）や天候不良による使用中止が影響している。 以上のことから、施設管理、安全対策、サービス向上、経費削減において、良好な経営がなされている。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価
Ⅰ 市民の平等な利用	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A
Ⅱ 管理を安定して行う物的能力、財政的能力及び人的能力の保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A
		2 備品が適切に管理されているか。	A
		3 清掃業務において、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	A
		4 警備業務において、安全で安心感のある環境を確保しているか。	A+
		5 外構施設の保守点検において、安全性が確保され、良好な機能が保持されているか。	A
		6 植栽・樹木等の維持管理において、利用者が快適に過ごせるような景観が保たれているか。	A
		7 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A
		8 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅲ 当該施設の 効用を最大限に 発揮させる能力 及び経費の縮減	1 サービス向上及び利用者の増加等、施設の効用を最大限に発揮させる取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A	
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A	
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A	
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A+	要求水準を上回る
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A+	
	2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	要求水準
		2 収支がプラスになっているか。	A	
		3 事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。（当初収支計画と実態の相違）	A	
		4 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A+	要求水準を上回る
Ⅳ 用施設 状況の利	1 施設の利用実績	1 施設利用者延べ人数	A	要求水準
		2 施設利用者一日平均人数	A	
Ⅴ その他	1 市民（利用者）から寄せられた具体的意見	1 寄せられた苦情の具体的事例及び対応	A	
Ⅵ 個別事項	1 生涯スポーツに係る普及・育成（利用者の拡大）	1 初心者等に指導できる体制が整っているか。	A+	要求水準を上回る
		2 各種のスポーツ振興への積極的な協力ができているか。	A+	
		3 魅力的な自主事業を実施しているか。	A	要求水準
		4 する・みる・支えるスポーツを実践しているか。	A	

評価段階：A+～C	A+（要求水準を上回る）の数	6
※要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準。	A（要求水準と同等）の数	34
	B（要求水準だが一部課題がある）の数	0
	C（要求水準に至らない）の数	0

指定管理者実績評価表（令和5年度実績）

社会教育課

施設名	習志野市生涯学習複合施設「プラッツ習志野」
指定管理者	習志野大久保未来プロジェクト株式会社
指定期間	令和元年9月1日～令和21年8月31日

特記事項	総合評価
開館から4年を経過するなか、多くの自主事業やフューチャーセンターでの活動が指定管理者の発案により意欲的に実施され、賑わいの創出や、市民同士の交流に繋がっている。利用者からの意見について、対応可能なものから順次、また、必要に応じて市側と調整の上、迅速に対応する姿勢が見られる。引き続き、接遇のさらなる向上や、自主事業参加者への個別アンケートの結果の活用などさまざまな創意工夫により、利用者満足度の向上を図る必要がある。 全体として概ね良好である。	A

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅰ 市民の確保等	1 施設の設置目的・「公の施設」としての基本方針の確立及び施設目的の達成度	1 施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、職員が理解しているか。	A	要求水準
		2 意欲的な管理運営がなされ、それを通じて施設目的を達成できているか。	A+	要求水準を上回る
	2 市民への事業広報活動等、市民の平等な利用の確保についての工夫	1 市民の平等な利用が確保されたか。どのように工夫しているか。	A	要求水準
		2 全ての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な情報提供を行っているか。	A	
Ⅱ 管理を安定して行う物的能力、財政的能力及び人的能力の保有	1 施設管理、安全対策の内容の妥当性	1 建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A	
		2 備品が適切に管理されているか。	A	
		3 清掃業務において、利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
		4 警備業務において、安全で安心感のある環境を確保しているか。	A	
		5 外構施設の保守点検において、安全性が確保され、良好な機能が保持されているか。	A	
		6 植栽・樹木等の維持管理において、利用者が快適に過ごせるような景観が保たれているか。	A	
		7 3R（リデュース・リユース・リサイクル）を実践し、ごみの減量に取り組んでいるか。	A	
		8 地球温暖化防止に係る取り組み（冷暖房温度設定・節水・節電他）を実践しているか。	A	
	2 経済的（経営・収支・資産等）に安定した運営	1 経営的（収支・資産等）に安定しているか。	A	
		2 仕様書に定められた、若しくは事業計画書のとおり開館しているか。	A	
	3 適正な職員の配置	1 管理職を含む常勤職員及び非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。（仕様書の人員配置は満たされたか）	A	
	4 個人情報の保護措置	1 個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A	
	5 緊急事態への対応策	1 事故防止のための体制の構築・取り組みを行っているか。	A	
		2 事故発生時の対応体制が確立されているか。	A	
		3 災害発生時の対応体制が確立しているか。	A	

区分	項目	評価観点	個別の評価	
Ⅲ 当該施設の効用を最大限に発揮させる能力及び経費の縮減	1 サービス向上及び利用者の増加等、施設の効用を最大限に発揮させる取り組み内容	1 利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	要求水準
		2 当該施設について、広報誌やPR誌を作成するなど、具体的な取り組みを実施し、潜在的な利用者にアピールしているか。	A+	要求水準を上回る
		3 利用者の満足度を高める適切な接遇がなされているか。	A	要求水準
		4 個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行っているか。（研修計画は適切であったか。）	A	
		5 職員間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A	
		6 利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。	A	
		7 利用者の意見や苦情等を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A	
		8 サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A	
		9 利用者の望む自主事業を適切に実施しているか。独自の工夫等はあるか。	A	
		10 地域との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A+	要求水準を上回る
	2 管理運営経費の縮減	1 指定管理料は適正に執行されているか。	A	
		2 収支がプラスになっているか。	A	
		3 事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。（当初収支計画と実体の相違）	A	
		4 効率的な管理を目指し、経費節減の努力を行っているか。	A	
利Ⅳ 用施設状況の	1 施設の利用実績	1 施設利用者延べ人数	A	要求水準
		2 施設利用者一日平均人数	A	
Ⅴ 個別事項	維持管理業務	1 駐車場・駐輪場が適切に管理され、利用者の安全を確保し、快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
		2 中央公園や多目的広場等が適切に管理され、利用者の安全を確保し、快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
		3 建物・設備・外構施設の環境衛生が適切に管理され、利用者の安全を確保し、快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
		4 建物・設備・備品・外構施設の修繕、更新が適切に行われ、利用者の安全を確保し、快適に利用できるような状態が保持されているか。	A	
	運営業務	1 統括マネージャーを配置し、関係者間の調整や各施設の業務運営責任者及び市との連絡調整等が適切に行われているか。	A	
		2 中央公民館の受付や減免関係業務、備品の貸出業務、備品預かり庫の管理等が適切に行われているか。	A	
		3 市民ホールの受付や減免関係業務、備品や設備の貸出業務、舞台操作業務等が適切に行われているか。	A	
		4 中央図書館の資料の貸出や返却業務、返却資料の書架への返架、書架の整理、資料の修理等が適切に行われているか。	A	
		5 南館（体育館含む）の受付や減免関係業務、備品の貸出業務等が適切に行われているか。	A	
		6 中央公園や多目的広場の占用や使用の受付、野球場やパークゴルフ場、テニスコートの受付、備品の貸出業務等が適切に行われているか。	A	
		7 全施設の予約システムの構築と運営業務が適切に行われているか。	A	
		8 全施設の利用案内やホームページの作成、更新が適切に行われているか。	A	

評価段階：A+～C	A+ （要求水準を上回る）の数	3
※要求水準とは、協定書・仕様書及び事業計画書において求める運営管理の水準。	A （要求水準と同等）の数	44
	B （要求水準だが一部課題がある）の数	0
	C （要求水準に至らない）の数	0